

# 社員が元気になる 『月刊朝礼』 の 朝礼

## 司会はくじ引きで決めて 社員の参加意識を高める

36年間『月刊朝礼』を発行してきたコミニケ出版では、実際にどんな朝礼を実践しているのかを紹介しよう。

同社では朝礼にゲーム性を持たせ楽しく参加できるように司会は毎朝、くじ引きで決めていく。司会は最近のニュースについて発表する役目もあるため、いつ当たるかわからない状態にすることで常にニュースをリサーチするようになる。

朝礼の冒頭では日本の伝統文化を重んじるため神棚に拝礼、

また、会社を創業し礎を築いてくれた創業者の写真にも一礼する。

その後はともに働く仲間とのコミュニケーションを図るために握手、あいさつ用語などを唱和する。次に『月刊朝礼』の本文を司会が読む。同誌には1カ月の話題が日付ごとに掲載されている。司会がその内容を朗読し、感想を社員が発表する。これが朝礼の大きな目的のひとつだ。同じテーマについて話をしても、人によって感じ方は違う。これにより、その社員の人となりを知ることができるといえる。

「1分間という決められた時間

の中で自分の意見を発表することでプレゼン能力も高まります」(梶谷編集長)

その後は社是や経営理念などを唱和した後、司会が最近のニュースを発表する。最新の情報にアンテナを張り、社会人として知っておくべき知識を養うためだ。「今日もわが社はツイてるツイてる」を唱和し、プラス思考で1日をスタートできる工夫もしている。充実した内容が詰め込まれた朝礼だが、所要時間は30分弱。朝礼をもっと活用したいと考えるのであれば、何かひとつでも取り入れてみてはどうだろうか。



## コミニケ出版の朝礼メニュー

- くじ引きで司会を決定
- 司会が「●月●日の朝礼を始めます。おはようございます」と述べて朝礼を開始。
- 神棚に拝礼
- 創業者に一礼
- 仲間同士で握手
- 「ていねいなあいさつ用語」と「接客5大用語」を唱和
- 『月刊朝礼』の本文を司会が読む
- 自発的に意見を述べたい人がいなければ、司会が選んだ5人が1分間で感想を述べる
- 「社是」「経営理念」を唱和後、「コミニケ出版社員としての果たすべき責務の大要」を全員で読み上げる
- 1人ずつ「当日の業務内容」を発表
- 司会が「最近のニュース」について発表
- 「今日もわが社はツイてるツイてる」と唱和
- 司会がその他の連絡事項を確認した後、朝礼終了



司会をくじ引きで決めることはゲーム性を出すことで、社員が受け身ではいられなくなる一挙両得の効果がある。

社員が発言することで、人となりを知るきっかけになる。

